

第13回アジア・スマートシティ会議の開催結果について

アジア・スマートシティ会議はアジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等が一堂に会し、持続可能な都市づくりに関する知見や実践事例を共有する本市主催の国際会議です。2012年から毎年開催しており、13回目となる今回は「アジアの脱炭素」をテーマに開催しました。

1 会議概要

(1) 日時・会場

令和6年10月22日（火）～24日（木）

パシフィコ横浜ノース ※22日は海外都市関係者による視察

(2) 共同運営者

アジア開発銀行研究所（ADB）、世界銀行東京開発ラーニングセンター（WB TDLC）

(3) 後援

内閣府、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省、アジア太平洋都市間協力ネットワーク（CITYNET）、国際農業開発基金（IFAD）、国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所

2 開催実績

(1) 参加者数

約2,200名（延べ人数）・46か国

(2) セッション数、登壇者数

18セッション、99名

(3) ブース出展者数、海外都市と企業の個別商談数

46企業・団体、224件

(4) 協賛企業数

7社



キービジュアル

3 主な登壇者 ※肩書は会議開催時点

- ・環境大臣政務官 朝日健太郎氏
 - ・世界銀行プラクティス・マネージャー アンヘリカ・ヌニェス氏
 - ・経済協力開発機構事務次長 武内良樹氏
 - ・インドネシア国パル市長 ハディアント・ラシード氏
 - ・マレーシア国クアラルンプール市長 マイムナ・モハメド・シャリフ氏
 - ・脳科学者 茂木健一郎氏
 - ・国際協力機構（JICA）地球環境部 部長 森田隆博氏
 - ・アジア開発銀行セクターグループ局長 ラメシュ・スブラマニウム氏
 - ・フィリピン国セブ市長 レイモンド・ガルシア氏
- ※五十音順。一部ビデオ登壇



クロージングセッション

4 主な成果

(1) 脱炭素社会の実現に向けた発信・アジアの都市との連携の強化

- ・ 6つの国際機関等※の出席のもと、アジアの39都市・機関とともに、気候変動に対する都市の役割や都市間連携の重要性を盛り込んだ「横浜宣言」を発出

※世界銀行、アジア開発銀行、経済協力開発機構、アジア太平洋都市間協力ネットワーク、国際協力機構

- ・ バンコク都、セブ市、ダナン市等と都市間連携の拡大を確認するとともに、シティネット会員都市とSDGsに関する自発的自治体レビュー（VLR）の連携強化を合意



横浜宣言

(2) グリーン社会の実現に向けたビジョン・知見の共有

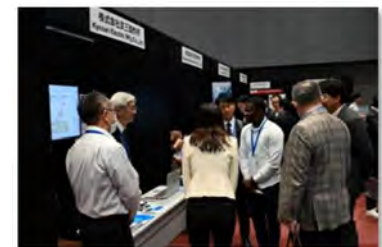
- ・ 国内外から多様なスピーカーを招き、港湾都市の脱炭素化、強靱でグリーンな都市づくり、半導体、モビリティ、次世代エネルギー、サーキュラーエコノミー等をテーマにグリーン社会の実現に向けたビジョンや知見を共有する18のセッションを実施し、都市・企業等多様なステークホルダーの脱炭素化を推進
- ・ ヨコハマ未来創造会議や市内大学の若者による持続可能な社会の実現に向けたアイデアの発表



モビリティセッション

(3) 市内企業等のビジネス機会の創出

- ・ 企業・団体46者の出展のもと、海外都市と企業間で延べ1,100件超のビジネス交流が実現（個別商談224件を含む）。また半導体等テーマ別にネットワーキングの場を設け、登壇者等と参加者のビジネス交流機会を創出
- ・ アジアの都市が都市課題を提示し、課題の解決に資する技術・ソリューションを市内事業者が発信するセッションを実施
- ・ 企業のグローバル人材確保に資するよう、市内留学生と企業の交流の場を創出。留学生15名が10社のブース出展をサポート



展示ブース

(4) GREEN×EXPO 2027 及び第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の機運醸成

- ・ GREEN×EXPO 2027をテーマに企業・有識者によるパネルディスカッションを実施し、博覧会が目指すネイチャーポジティブ、カーボンニュートラル等について議論
- ・ 市内企業のアフリカへのビジネス進出促進をテーマにセッションを実施。アフリカ各国から企業家（約30名）を招へいし、市内企業とのネットワーキングを目的にテクニカルツアーを開催
- ・ 会場内のブース展示等を通じ国内外の参加者に広くPR



GREEN×EXPO 2027 セッション



TICAD9のPRブース

タイムテーブル

2024.10.23 (水)

G1では両日ともブース展示を実施

BLUE STAGE(G2)	GREEN STAGE(G1)
10:00-10:30 オープニングセッション	
10:40-11:30 GREEN×EXPO 2027セッション	10:40-12:00 アジアの都市によるリバースピッチ／日本企業による ビジネスピッチ ～都市課題の解決に向けたビジネスマッチング～
11:40-12:00 ビジネスキーノート	
13:10-15:10 港湾都市の脱炭素化	13:10-13:55 次世代エネルギーの活用による脱炭素イノベーション の創出 14:05-14:50 E Vは本当に実用的なのか～モビリティの2030年を 考える～ 15:00-16:00
15:30-17:00 JICAセッション	市内および海外大学の学生による都市課題解決戦略の 共同提案発表：インフォーマル市街地におけるレジリ エンス 16:15-17:15 ウェルビーイングを向上する都市デザイン

2024.10.24 (木)

BLUE STAGE(G2)	GREEN STAGE(G1)
10:00 - 12:00 世界銀行セッション	10:00-10:30 スペシャルキーノート 10:40-11:25 横浜発！半導体オープンイノベーションの可能性 11:30-12:00 アジアのサーキュラーエコノミーハブとしての横浜の 可能性
13:10-15:10 シティネットSDGs分科会セミナー SDGsと気候変動対策のシナジー - シティネットの ネットワーク活用に向けて	13:10-14:10 アフリカビジネスセッション 14:30-15:10 Our Future is Here ～気候危機に共に立ち向かう～
15:20-16:30 クロージングセッション 都市が牽引する新たなグリーン社会の実現 ～アジ ア・スマートシティ会議が果たす役割～	